



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス 上場取引所 福
 コード番号 9407 URL <https://rkb.jp/holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 泉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理局長 (氏名) 市川 健治 TEL 092-852-6624
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	23,144	37.2	1,086	13.2	1,329	16.6	708	27.2
	16,864	0.1	959	6.9	1,140	6.9	556	△1.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,539百万円(+946.1%) 2025年3月期第3四半期 242百万円(△87.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	323.24	—
	254.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	60,562	43,175	68.8
	55,498	40,811	71.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 41,648百万円 2025年3月期 39,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	75.00	75.00
2026年3月期(予想)				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
	32,400	33.6	1,380	1.0	1,600	3.4	800	1.2
								364.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3 Q	2,240,000株	2025年3月期	2,240,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	48,002株	2025年3月期	47,966株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3 Q	2,192,020株	2025年3月期 3 Q	2,192,051株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 参考情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、設備投資やA I関連需要が堅調に推移し、緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価の上昇は続いており、原材料価格も高止まりしております。急速な金利上昇、為替変動、米国の通商政策の不確実性や地政学リスクも引き続き懸念されており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、主力事業である放送関連事業はテレビ部門の売上が堅調に推移しました。システム関連事業につきましても官民ともにDX・IT化への投資が引き続き活発であることなどから、前期実績を大きく上回りました。さらに、前連結会計年度末にFun Standard㈱及び㈱ベーシックリビングを連結子会社化したことにより、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高231億44百万円（前年同期比37.2%増）、営業利益は10億86百万円（前年同期比13.2%増）、経常利益は13億29百万円（前年同期比16.6%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益は7億8百万円（前年同期比27.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「放送事業」、「システム関連事業」、「不動産事業」及び「その他事業」の4区分から、「放送関連事業」、「システム関連事業」、「不動産事業」及び「ライフスタイル事業」に変更しております。セグメントごとの比較情報については、上記セグメント変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値で比較しております。報告セグメントの詳細につきましては、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）に記載しております。

①放送関連事業

放送関連事業は、収入111億86百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益4億22百万円（前年同期比68.1%増）となりました。

テレビ部門は、収入97億20百万円（前年同期比3.6%増）となりました。主力商品であるスポット収入は0.1%減となりました。業種別では、人材サービス、薬品やレジャー施設等が好調であった一方、アルコール飲料やトライエタリー等は低調でありました。タイム収入につきましては、女子プロゴルフ「Sky RKBレディスクラシック」等の放送に関連するイベントの開催や、「東京2025世界陸上」や「東急不動産ホールディングス世界ブレイキン」等の放送もあり8.9%増となりました。

ラジオ部門は、収入7億29百万円（前年同期比3.6%減）となりました。スポット収入はイベント関連の告知CM、時報スポットや法律事務所等からの発注で4.1%増加しました。また、タイム収入は新規スポンサーの取り込みを図りましたが、番組の終了、レスポンス広告の減少及び前期開催したイベントの反動減等により6.5%減となりました。

その他放送関連部門は、収入7億35百万円（前年同期比5.2%増）となりました。出資映画の配分金が増加したことや催事では「芥見下々『呪術廻戦』展」や「プレバト才能アリ展」等、舞台では「マクベス」等により増収となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入59億11百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益6億54百万円（前年同期比3.9%増）となりました。収入については官公庁向け自治体標準化対応、小売チェーン店への総合セキュリティ対策ソフトやネットワーク関連機器の販売が好調であったことに加え、Windows 11への買い替え需要も取り込んだことで増収となりました。営業利益は、自治体標準化移行パッケージの販売拡大に加え、受注価格の適正化交渉やSEの効率的かつ柔軟な配置を推し進めたことにより増加しました。

③不動産事業

不動産事業は、収入8億13百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益7億75百万円（前年同期比1.3%増）となりました。R K B駐車場の稼働率が高水準で推移したことや賃貸物件を新たに購入したこと等により増収増益となりました。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高を加えた不動産事業の収入は14億54百万円であります。

④ライフスタイル事業

ライフスタイル事業は、収入52億33百万円（前年同期は7百万円）、営業損失1億28百万円（前年同期は営業損失33百万円）となりました。第1四半期連結会計期間よりFun Standard(株)及び(株)ベースックリビングを連結対象にしたことにより大幅増収となりました。eコマース（ネット通販）部門はカー用品、防災用品や宅配ボックスが好調で売上・利益ともに増加しました。サーモン陸上養殖部門については、工場建設に伴い減価償却費等が発生し営業損失となりました。この結果、ライフスタイル事業全体としては増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、605億62百万円と前連結会計年度末と比べ50億63百万円増加しました。これは主に、サーモン陸上養殖の工場建設等によりリース資産が23億64百万円及び株価の上昇及び投資有価証券の取得により投資有価証券が27億31百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、173億86百万円と前連結会計年度末と比べ26億99百万円増加しました。これは主に、サーモン陸上養殖の工場建設等によりリース債務が22億83百万円及び株価の上昇により繰延税金負債が8億25百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、431億75百万円と前連結会計年度末と比べ23億64百万円増加しました。これは主に、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が16億71百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が5億44百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、ライフスタイル事業においてeコマース部門の販売及び放送関連事業においてもテレビ部門のタイム収入が堅調で、売上・利益が予想を上回る水準で推移しております。2025年11月11日に公表しました2026年3月期の通期の業績予想を修正いたします。この結果、売上高324億円、営業利益13億80百万円、経常利益16億円、親会社株主に帰属する当期純利益8億円を見込んでおります。

(参考)

2025年11月11日発表の連結業績予想(通期)

売上高315億円、営業利益11億50百万円、経常利益13億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益6億50百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	8,616	8,833
受取手形、売掛金及び契約資産	4,603	3,921
电子記録債権	1,400	1,508
有価証券	100	100
棚卸資産	1,044	1,673
その他	1,125	1,741
貸倒引当金	△28	△28
流动資産合計	16,862	17,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,716	7,241
機械装置及び運搬具（純額）	859	719
土地	14,227	14,233
建設仮勘定	2,638	375
その他（純額）	2,133	4,527
有形固定資産合計	25,576	27,097
無形固定資産		
のれん	466	431
その他	539	715
無形固定資産合計	1,006	1,146
投資その他の資産		
投資有価証券	9,613	12,344
その他	2,441	2,225
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	12,053	14,568
固定資産合計	38,636	42,812
資産合計	55,498	60,562
负债の部		
流动负债		
支払手形及び買掛金	534	260
短期借入金	664	1,180
1年内返済予定の長期借入金	46	46
未払法人税等	245	316
その他	4,034	3,453
流动负债合計	5,525	5,257
固定负债		
长期借入金	293	346
退職給付に係る负债	4,375	4,178
その他	4,492	7,604
固定负债合計	9,161	12,129
负债合計	14,687	17,386

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
　資本金	560	560
　資本剰余金	4	4
　利益剰余金	35,460	36,004
　自己株式	△185	△185
　株主資本合計	35,839	36,383
その他の包括利益累計額		
　その他有価証券評価差額金	3,638	5,310
　退職給付に係る調整累計額	△62	△45
　　その他の包括利益累計額合計	3,576	5,264
非支配株主持分	1,396	1,527
純資産合計	40,811	43,175
負債純資産合計	55,498	60,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	16,864	23,144
売上原価	10,654	13,452
売上総利益	6,209	9,691
販売費及び一般管理費	5,249	8,605
営業利益	959	1,086
営業外収益		
受取利息	1	10
受取配当金	162	219
その他	31	60
営業外収益合計	195	290
営業外費用		
支払利息	1	18
その他	13	28
営業外費用合計	15	47
経常利益	1,140	1,329
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	-	2
違約金収入	-	90
特別利益合計	2	96
特別損失		
固定資産除売却損	2	-
特別損失合計	2	-
税金等調整前四半期純利益	1,139	1,426
法人税等	457	576
四半期純利益	681	850
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	141
親会社株主に帰属する四半期純利益	556	708

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	681	850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△438	1,672
退職給付に係る調整額	△0	16
その他の包括利益合計	△439	1,689
四半期包括利益	242	2,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118	2,397
非支配株主に係る四半期包括利益	124	142

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはこれまで「放送事業」、「システム関連事業」、「不動産事業」及び「その他事業」の区分で経営管理していましたが、Fun Standard㈱及び㈱ベーシックリビングを連結子会社化したことに伴い「その他事業」の重要性が増してきました。そのため、新たに「ライフスタイル事業」を新設いたしました。

なお、これに併せてこれまで「その他事業」に分類してきた催事（イベント企画・制作）等及び太陽光発電につきましては、事業との親和性・関連性を鑑み、それぞれ「放送関連事業」及び「不動産事業」に含めて分類しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントを構成する主要製品及びサービス及びグループ会社

報告セグメント	主要製品及びサービス	グループ会社
放送関連事業	テレビ・ラジオ放送・番組制作 メディアコンテンツ開発・催事開催 放送業務等への人材派遣	RKB毎日放送㈱ ㈱RKB CINC
システム関連事業	システム(ソフトウェア)開発 クラウドセキュリティサービス	㈱BCC
不動産事業	不動産の賃貸・仲介・管理 不動産有効活用(太陽光発電)	㈱RKB毎日ホールディングス RKB興発㈱
ライフスタイル事業	サーモン陸上養殖 eコマース・製品企画開発	宗像陸上養殖㈱ Fun Standard㈱ ㈱ベーシックリビング

II 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送関連 事業	システム 関連事業	不動産 事業	ライフ スタイル 事業	計		
売上高							
テレビ放送	9,386	—	—	—	9,386	—	9,386
ラジオ放送	757	—	—	—	757	—	757
システム関連	—	5,229	—	—	5,229	—	5,229
その他	695	—	—	7	702	—	702
顧客との契約から生じる 収益	10,838	5,229	—	7	16,076	—	16,076
その他の収益	4	25	757	—	787	—	787
外部顧客への売上高	10,843	5,255	757	7	16,864	—	16,864
セグメント間の内部売上 高 又は振替高	7	59	629	—	696	△696	—
計	10,850	5,314	1,387	7	17,560	△696	16,864
セグメント利益又は損失 (△)	251	629	765	△33	1,612	△653	959

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△653百万円には、セグメント間取引消去0百万円、当社における子会社からの収入98百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△751百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

III 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送関連 事業	システム 関連事業	不動産 事業	ライフ スタイル 事業	計		
売上高							
テレビ放送	9,720	—	—	—	9,720	—	9,720
ラジオ放送	729	—	—	—	729	—	729
システム関連	—	5,885	—	—	5,885	—	5,885
その他	731	—	—	5,233	5,964	—	5,964
顧客との契約から生じる 収益	11,182	5,885	—	5,233	22,300	—	22,300
その他の収益	4	26	813	—	844	—	844
外部顧客への売上高	11,186	5,911	813	5,233	23,144	—	23,144
セグメント間の内部売上 高 又は振替高	11	57	641	0	710	△710	—
計	11,197	5,968	1,454	5,233	23,855	△710	23,144
セグメント利益又は損失 (△)	422	654	775	△128	1,723	△636	1,086

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△636百万円には、セグメント間取引消去0百万円、当社における子会社からの収入103百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△740百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	844百万円	1,127百万円
のれんの償却額	－ 百万円	35百万円

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	比率(%)
テレビ収入	9,417	88.3	9,743	88.8	326	3.5
ラジオ収入	785	7.4	762	6.9	△23	△3.0
その他の収入	458	4.3	472	4.3	14	3.1
合計	10,661	100.0	10,978	100.0	316	3.0